

事務事業名		成年後見制度等利用支援事業			会計	介護保険		事業種別			開始	18	終了			
課等名		介護高齢課		係等名		基幹包括支援センター										
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり												
		施策	35	高齢者福祉の推進												
目的	対象(誰・何を)	判断能力が低く支援の必要性のある高齢者										対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	成年後見制度の申し立てが必要な高齢者を制度利用に結びつけ、安心して暮らせるようにする。											成年後見制度相談者予想数	8件		
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合														
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)							
	成果指標	相談件数/対象者数×100%			100	100	100									
	定性目標															
事業概要	<p>高齢者の権利擁護を図るため、地域包括支援センターと連携を取りながら相談業務に当たり、必要に応じて成年後見等の申し立てを支援する。</p> <p>飯田市成年後見制度支援事業要綱に基づき、申し立てをする親族がない場合に市町村長による後見開始、保佐開始または補助開始の審判等の請求に係る申し立て費用・後見人報酬を市が負担する。(求償権有り)</p> <p>成年後見支援センターの設置及び運営については、「成年後見支援センター設置運営事業」で実施</p>															
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標							
	<p>1 地域包括支援センターと連携して相談業務に当たり、必要に応じて成年後見等の申し立てを支援する。</p> <p>2 市長による成年後見の申し立てを実施。</p> <p>3 成年後見制度の利用促進のため、関係する団体との連携を図り、広報や相談の取組みを進める。</p> <p>4 成年後見センター設置に向けた検討を推進する。</p>				1 後見・補助・補佐相談件数				<p>1 8 件(相談数)</p> <p>1 件(親族申立)</p> <p>2 3 件</p>							
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足										
事業費計(千円)①		0	796	110	805	地域支援事業交付金の任意事業 国39.5% 県19.75% 市19.75% 1号保険料21% (そ)成年後見申立費用本人負担金										
国庫支出金		0	316	20	315											
県支出金		0	157	10	157											
起債																
その他		0	7	59	6											
一般財源		0	316	21	327											
人件費計(千円)②		358		715												
正規職員所要時間		100		200												
臨時職員所要時間																
総事業費①+②		358	796	825	805											
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>昨年は相談はあったが、市長申立は0であった。今年度は、3件の市長申立があり審判が下っている。親族申立になったケースもあり、後見制度利用に繋がっている。利用についての継続相談もあり、他の困難な事項についての相談と合わせながら、今後利用に繋がっていくと良い。</p>															
改革改善の考え方	①問題点	金銭管理に難色は示すが身上監護がどうしても必要なケースがあった。身上監護面をどうしていくのが課題になっている。利用の審議は相談しながら進めている。来年度、いいだ後見センターや支援ネットとの協力体制が課題となる。														
	②改革提案	いいだ成年後見センター・支援ネットと連絡調整しながら、制度利用を勧めていく。身上監護についての課題は、関係機関と調整しながらおのおののケースにとって1番良い方法を見極めていく。														